



ほっと一息、心チャージ



①鳥居をくぐる前から色とりどりの花がお出迎え。②十二支の瓦と数百年前に造られた鬼瓦。自分の干支の瓦をさがしてみてもいい。③今年の干支、酉の瓦。④ねこもくつろぐ憩いの場所です。

花と緑があふれる癒しの神社

住宅街の中に突如現れる緑の森。蒲田神社には5本の御神木がそびえたつ。境内に樹齢数百年を経た巨樹が数本現存しているのは全国的にも珍しい光景とのこと。本社の裏には樹齢千年を超える千年樟が、境内を見守っている。

昨年、剪定を終えた樟。これからの季節、ぐんぐんと枝葉を伸ばし、約五年かけてもとの大樟へと姿を変える。その変化をぜひ優しく見守ってほしいと、欄宜※の土井悠紀子さんは語る。

花の種類はなんと400種!

蒲田神社と言えば樟というイメージがあるが、スミレに、菜の花、片野桜など、境内で

は木々だけでなく、たくさんの花も訪れる人を迎えてくれる。その種類はなんと400種以上! この花は悠紀子さんが手塩にかけて育てているもの。「花がだ〜い好きで育てているの。いつでも花が咲いている神社にすることが目標」と話す悠紀子さん。花や自然に触れて、訪れた人にスッとした気持ちになってもらいたい。その想いで育てた花は今では敷地いっぱいに広がり、地域の方にも協力してもらいながらお世話をしているという。季節ごとにくるくると表情をかえる蒲田神社。もうすぐ平戸や五月といったツツジの花が見ごろを迎える。

※欄宜…宮司に次ぐ神職の位の一つ。宮司を補佐する者の職称。



▲悠紀子さんが種から育てた片野桜。今年もたくさんの花をつけました。

蒲田神社

住所: 淀川区東三国2丁目18-12

室町時代に村の鎮守として創建されました。神崎川(三国川)と淀川の川又に神社があったことから、蒲田神社と名付けられたと宮司が話してくれました。



新コーナー ええとこみっけ!

淀川区のことをもっと知りたい! 歴史や文化、お出かけスポットなど、区内の“ええとこ”お届けします!